

草本種子の早期発芽力検定法

草本種子の品質(発芽能力)を1週間前後で評価する方法

■ 早期発芽力検定法とは？

- 1週間前後という短期間で種子の品質を評価する活力検定法です。



- 緑化工における正確な種子の配合設計
- 種子の品質管理

などに利用が可能です。

■ 発芽試験との相関性

従来から種子の品質検査に用いられている **発芽試験との相関が高く**、早期発芽力検定法であれば **短期間で発芽率と同等の値の推定が可能**です。

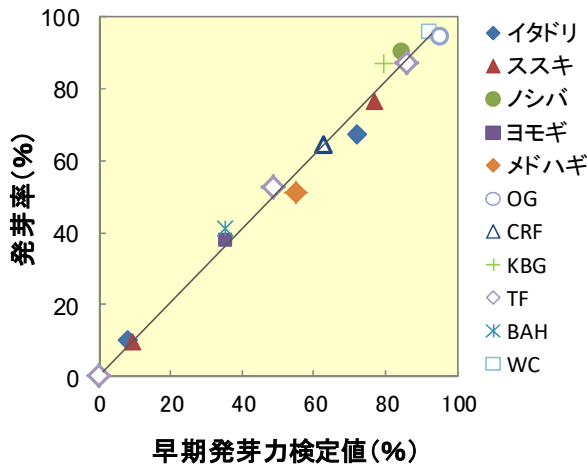


図-1 早期発芽力検定法と発芽試験との相関関係

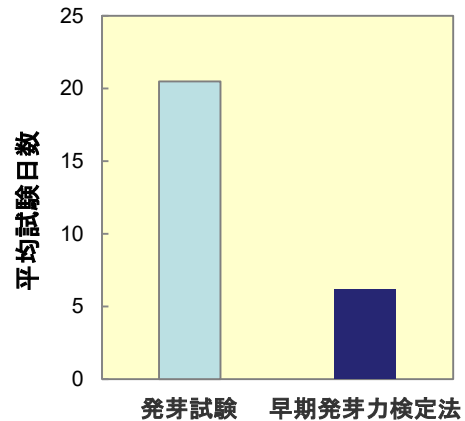
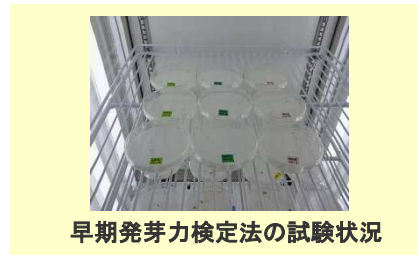
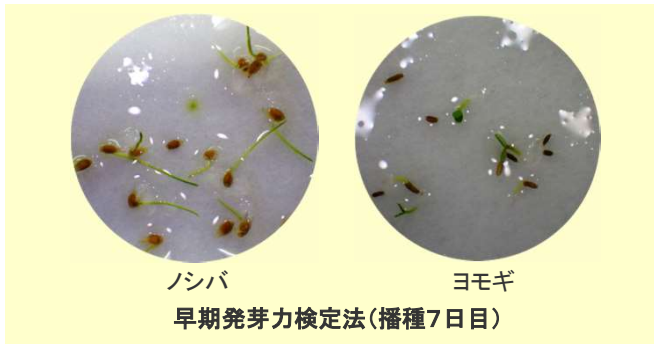


図-2 平均試験日数の比較
(道路土工一切土工・斜面安定工指針掲載種)

■ 適用可能草本植物

道路土工一切土工・斜面安定工指針(平成21年度版)に掲載されている播種工に用いる主な植物



- ・他の植物については、お問い合わせください。
- ・草本種子の早期発芽力検定法は、木本種子の早期発芽力検定法(NETIS KT-060003-V、H25～活用促進技術(登録掲載期間終了))を応用して検定法を開発しています。